

2016年度 ミクロ経済学初級 第1回演習(自宅学習用)

グレーヴァ香子担当クラス

提出しません。次回の講義までに各自でやっておきましょう。

2つの財しかない経済を考える。財1の消費量を x_1 、財2の消費量を x_2 とする。

1. 財1の価格を200円、財2の価格を100円とし、ある消費者の所得を10,000円としたときの予算集合を、 x_1 を横軸、 x_2 を縦軸として図示しなさい。
2. 各財の価格が変わらず、所得が2倍になったときの新たな予算集合を図示しなさい。
3. デノミが行われ、100円が1ゼニーという新たな貨幣単位に変更されたとする。これは、ある意味全ての財の価格と所得が $1/100$ になったということである。

新たな貨幣単位で問い1の状況、つまり財1の価格は2ゼニー、財2の価格は1ゼニー、所得は100ゼニーのときの予算集合を図示し、問い1の集合と比較しなさい。何が言えるか？

4. 問い1のケースに戻る。この消費者は、財1の消費量と財2の消費量をかかけた数値が同じであるような消費ベクトルはすべて無差別であるとする。つまり無差別曲線は、 a を定数として

$$x_1 \times x_2 = a$$

という形をしているとする。例えば、 $(10, 2)$ も $(2, 10)$ も $(5, 4)$ も $(4, 5)$ もすべて同じように好むわけである。この人の無差別曲線をいくつか問い1の図に追加して図示しなさい。

できたら、予算制約内で最も好む消費ベクトルを発見しなさい。